

序

最近急激に増加した疾患として、鼻アレルギーと滲出性中耳炎が挙げられる。両者は相互に関係があるように思われるが、アレルギー疾患と、滲出性中耳炎との合併は案外多くないようである。滲出性中耳炎は小児に多いが、成人も罹患していることからみると、食生活をはじめ、生活状態の変化により、個体の反応様式が変わってきたためであろうか。鼻アレルギーは季節の移り変わりとともに改善されるが、滲出性中耳炎は、長期にわたることが多く、治療に難渋する。

このような背景から今回は滲出性中耳炎を取り上げたのである。本書により疾患の全体像を把握できるように、基礎知識から、治療法、さらに予後にいたるまで、各領域について経験豊かな諸先輩に執筆していただいた。この特集が日常の臨床に役立つことを期待したい。

(編集委員)